富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和6年2月号
No.260

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 ｜ TEL 076 (424) 1531 ｜ https://www.tch.pref.toyama.jp/

立春の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今月の掲載は、呼吸器内科、皮膚科、
ファミリーバース（院内助産）、緩和ケアセンターです。

YouTubeで当院の「今」をお伝えしています。是非ご覧ください。

診療科の紹介　呼吸器内科

呼吸器内科スタッフ
後列左より　畦地医師、田邊研修医、藤原研修医、入江研修医、村山医師
前列左より　津田（岳）医長、藤井病棟師長、谷口部長、正木医長

外来受診表

	月	火	水	木	金
初診		津田	谷口		正木
内科７診	正木	谷口	正木	谷口	畦地
内科８診	津田		村山		津田

◆診療体制

令和6年2月現在、呼吸器内科は谷口浩和部長、正木康晶医長、津田岳志医長、村山望医師、畦地健司医師の5人の常勤医師で外来診療及び入院診療を担当しています。

外来診療は右上の表のとおりです。

入院診療は主に9階南病棟と4階南病棟で行っており、30人から50人程度の入院患者さんを診療しています。9階南病棟には結核隔離病棟を有し、排菌のある肺結核症の患者さんの診療が可能です。

◆診療内容

肺癌や悪性胸膜中皮腫などの悪性腫瘍性疾患、

肺結核や肺炎などの感染症、間質性肺炎や膠原病関連疾患に伴う肺病変などのびまん性肺疾患、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患などの気道系疾患など、様々な呼吸器疾患を診療対象にしています。

主要な検査の一つである気管支鏡検査は年間400件以上施行しています。肺癌領域においては近年、特定の遺伝子変異をターゲットとした分子標的薬の進歩が著しく、気管支鏡検査による診断・遺伝子検査の重要性が増しています。当院では最新の超音波気管支鏡技術を駆使し、高い診断率となっています。また気管支のナビゲーションマップを作成し、より短時間で負担の少ない検査を心がけています。

当院では毎週火曜日に、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線治療科、放射線診断科、緩和ケア科の医師が集まり、呼吸器キャンサーボードを開催しています。肺癌患者さんの検査や治療法について協議を行い、最善の治療を検討しています。今後も富山県の肺癌患者さんに、より多くの治療手段を提供できるように努力してまいります。

◆話題提供（膿胸について）

1. 膿胸とは

肺はその表面を直接覆っている臓側胸膜と胸壁の内側を覆っている壁側胸膜に包まれています。この2枚の胸膜の間の空間を胸膜腔と呼びます。胸膜に細菌感染が起こり、胸膜腔に膿が貯留した状態が膿胸です。罹患期間が3週間以内の場合を急性膿胸、3ヶ月以上の場合を慢性膿胸といいます。

急性膿胸は、先行する肺炎や縦隔炎などから進展したり、胸部手術や食道破裂に合併して発症します。原因菌としては口腔内の常在細菌や黄色ブドウ球菌、嫌気性菌が多く、口腔内衛生環境が悪い方や誤嚥リスクが高い方で発症しやすいです。高齢化に伴う誤嚥性肺炎の増加により、膿胸もますます増加することが予想されます。

2. 膿胸の治療

胸膜腔に抗菌薬は届きにくく、抗菌薬のみで改善する症例は稀です。原則、胸腔ドレーンを留置して排液を行います。胸腔ドレーンによる排液と抗菌薬で効果が乏しい場合には、掻爬術や開窓術などの外科的治療が必要となることもあります。

3. 症例提示

最後に膿胸に対して呼吸器外科と協力して治療を行った症例についてご紹介します。

【症例】70歳代女性
【診断】左膿胸
【併存症】気管支喘息、2型糖尿病、脂質異常症
【現病歴】

2型糖尿病、脂質異常症で近医通院中の方。発熱、咳嗽が生じ市販の解熱鎮痛薬を内服していたが改善がなかった。左側胸部痛が生じたため前医を受診したところ、炎症反応の上昇と左胸水が指摘された。当院を紹介受診され、膿胸疑いで当科に入院となった。

【入院後経過】

胸部X線写真で左胸水（図1）、胸部CTで左被包化胸水（図2）を認めました。白血球 17000/μL、CRP 39.17 mg/dLと炎症反応の上昇を認めており、急性膿胸を疑い胸水穿刺および胸腔ドレーン留置を行いました。胸水所見から膿胸と診断しました。抗菌薬と胸腔ドレーンによる排液で炎症反応はわずかに改善しましたが、発熱の持続や排液不良を認めました。CTを再検したところ一部の膿は減少していたものの、葉間や肺底部の膿が残存している状態でした。呼吸器外科と協議のうえ、第8病日に胸腔鏡下掻爬ドレナージ術を施行しています。

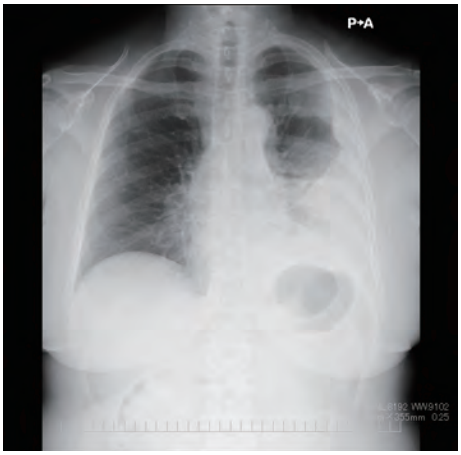

図1

その後は解熱が得られ、炎症反応も低下を認めました。第14病日に胸腔ドレーンを抜去し、第19病日からは抗菌薬を点滴から内服へ変更しました。以後も全身状態良好で経過し、第22病日に退院となりました。退院後の胸部X線写真では左胸水の減少を認めました（図3）。また歯科口腔外科を受診し、齲歯・歯周炎に対して治療を開始しました。

本症例のように、膿胸は抗菌薬やドレーン留置だけでは改善に乏しく手術が必要な症例も多く、呼吸器外科との連携が重要です。当科では入院時から呼吸器外科の医師と相談し、最良の治療選択ができるよう診療にあたっています。

4. さいごに

日頃、先生方には多くの患者さんのご紹介を頂きありがとうございます。地域の先生方との病診連携はますます重要になってまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

（文責）村山

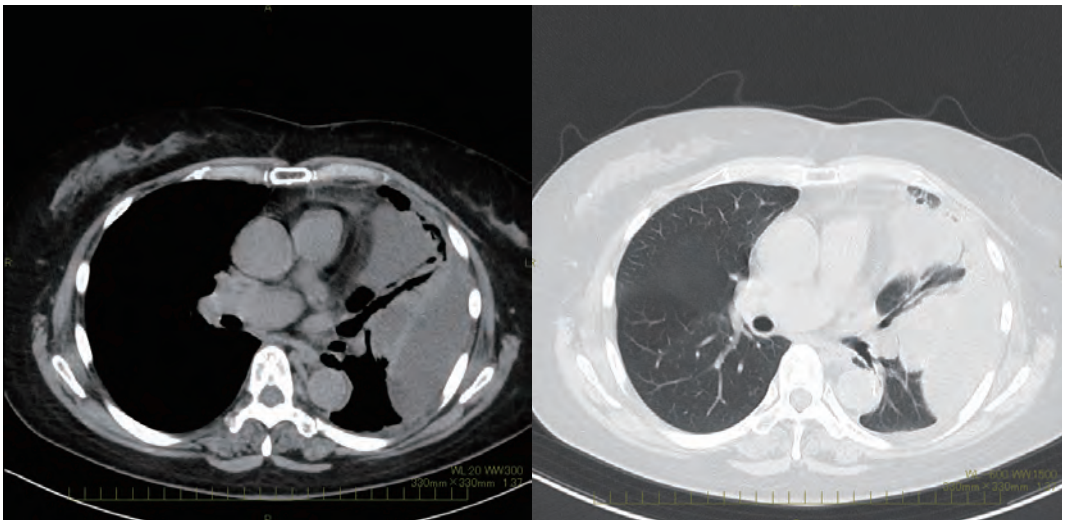

図2

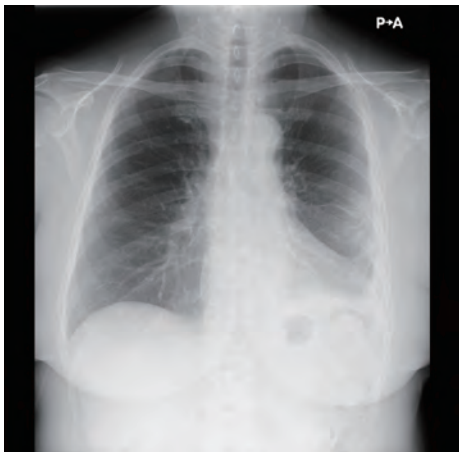

図3

皮膚科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

当科には皮膚科専門医が複数在籍し、皮膚疾患全般において専門性の高い良質な医療を提供しています。また、自治体病院としては全国で唯一、皮膚科専門研修プログラムを有し、専攻医の研修も可能な体制を整えています。皮膚悪性腫瘍に関しては年間約80件の悪性腫瘍手術を行い、全国的な研究班の一員として臨床研究を積極的に行うなど、最先端の診療を提供しています。更に、下肢静脈瘤は病態に応じて高位結紮術、血管内焼灼術、硬化療法などで治療しており、色素性病変に対するQスイッチルビーレーザー治療、各種遺伝性疾患における遺伝カウンセリングや遺伝子診断など幅広い診療に対応しています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長
八田（はった）　尚人（なおひと）

【（患者さんに向けた）一言】
・患者さんにとって負担の少ない治療を心がけています
【自身の専門性（手技他）アピール】
・皮膚癌、遺伝性疾患
【専門医資格】
日本皮膚科学会認定専門医、皮膚悪性腫瘍指導専門医、臨床遺伝専門医、遺伝性腫瘍指導医

部長
石井（いしい）　貴之（たかゆき）

【（患者さんに向けた）一言】
・目の前の患者さんを大切にし、地域医療に貢献します
【自身の専門性（手技他）アピール】
・下肢静脈瘤、レーザー、皮膚外科
【専門医資格】
日本皮膚科学会認定専門医、皮膚悪性腫瘍指導専門医、下肢静脈瘤血管内治療実施医

医師
西尾（にしお）　次郎（じろう）

【（患者さんに向けた）一言】
・患者さんに寄り添った診療を心がけます
【自身の専門性（手技他）アピール】
・褥瘡、蜂窩織炎

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
	午前 / 午後	午前 / 午後	午前 / 午後	午前 / 午後	午前 / 午後
1診	八田＊ / 八田	八田 / 手術	八田 / 手術	八田＊ / 手術	八田 /
2診	石井 / 石井	石井 / 手術	石井 / 手術	石井 / 手術	木田 / 石井
3診	木田 / 西尾	西尾 / 手術	西尾 / 手術	西尾 / 手術	西尾 / 西尾

＊回診のため10時から

ファミリーバース（院内助産）のご紹介

当院は2007年2月より助産師外来を、2021年10月より院内助産を始めました。助産師外来では、助産師が医師と連携しながら妊娠中の妊婦健診や保健相談を行います。妊娠期間を健康で快適に過ごし、満足いくお産ができるように、妊婦さん一人ひとりとゆっくり話をしながらアドバイスしています。

院内助産は、助産所のようなアットホームなお産と病院の高度な医療が提供できるお産、その両方の良い部分を提供できるシステムとなっています。妊娠中は、医師の健診と交互に助産師外来を受診してもらい、健康管理や骨盤ケア、乳房の手入れなどをアドバイスすると共にバースプランについて話し合いを重ねます。バースプランでは「お産をどのように過ごしたいか」「誰に立ち会ってもらいたいか」「どんな姿勢で産みたいか」など主役である妊婦さんを中心にご家族の希望なども聞きながら、細かく計画していきます。

出産のときは家庭的であたたかい雰囲気の中で赤ちゃんを迎えることができるよう、助産師が見守ります。お子さんの立ち会いも歓迎しています。医療介入のないお産をしますが、必要時は医師の診察や分娩立ち会いを依頼します。昨年は2人の院内助産ができました。1人は前回も当院の院内助産で出産された方です。もう1人の方はお子さんの立ち会い出産を希望され、院内助産を選ばれました。それぞれの出産の感想では、「冷静に、主体的に出産することができたと感じている。助産師さんたちが一緒で心強かった。」「パパや子どもたちが傍に居てくれたことがすごくうれしかった。本当に満足の出産でした。」と好評でした。

最近、院内助産にもっと親しみをもってもらえるよう通称をファミリーバースと名付けました。「家族と共に出産」、「新しい家族の誕生」２つの意味を込めました。当院のファミリーバースをぜひ身近な方に紹介していただけたらうれしいです。

助産師外来

院内助産

在宅緩和ケア懇話会報告

令和5年12月4日、当院5階ホールにて第23回在宅緩和ケア懇話会・がん患者在宅療養支援事例検討会を富山県中部厚生センターと共同開催しました（参加者57名：院外31名、院内26名）。今年は3年ぶりに集合型で開催することができました。最近のがん治療は入院から外来へシフトしており、また高齢のがん患者も多く、通院治療中から在宅医療・介護サービスを導入するケースも増えています。そこで今回は「地域の支援を受けながら通院治療を継続し在宅看取りとなった事例」について検討し、その後「がん患者の療養を支えるための地域連携～外来治療が増加している中での現状と課題について～」をテーマにグループワークを行いました。それぞれの立場で活発な意見交換が行われ、今後がん患者を地域で支えていく上での課題を見出す貴重な機会となりました。今後も更に皆様と連携を深めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。　（文責）緩和ケアセンター　敦賀

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

3月開催予定

★第81回 富山県立中央病院歯科口腔外科病診連携症例検討会
日 時：令和6年3月6日（水）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央診療棟3階　35会議室

★第177回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和6年3月7日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和6年3月11日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和6年3月14日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★第125回 漢方症例検討会
日 時：令和6年3月15日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和6年3月28日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和6年3月19、26日（火）16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

4月開催予定

★第178回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和6年4月4日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和6年4月8日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和6年4月11日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和6年4月2、9、16、23、30日（火）
16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

2 3月の外来診療に関する医師不在日

科　名	医師名	不在日
消化器内科	松田(耕)医師	1日(金)、27日(水)～29(金)
ﾘｳﾏﾁ･和漢診療科	津田(玲)医師	18日(月)
産婦人科	南医師	25日(月)
	吉越医師	15日(金)、18日(月)
耳鼻いんこう科	吉川(智)医師	7日(木)、8日(金)
放射線診断科	望月医師	18日(月)、19(火)
歯科口腔外科	小島歯科医師	15日(金)
	倉部歯科医師	15日(金)

3 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになって来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取ってお帰りいただく場合があります。

ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提供書を事前にFAXいただきますと診療までの待ち時間の短縮にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節を迎えております。皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年の冬は、積雪が少なめで、心なしか通勤等への影響も少なかった様に感じています。2月3日の節分は、年の変わり目に邪気を払い、1年の無病息災を願う行事です。いまは、一刻も早く能登地域の復興をただただ願うばかりです。

このたび、能登半島を中心として発生した大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

地域連携室看護師・社会福祉士
福澤広美

節分
撮影：地域連携室看護師 吉田 弘子

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/

地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp

医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp